

MOBILE SUIT VARIATION **MSV**

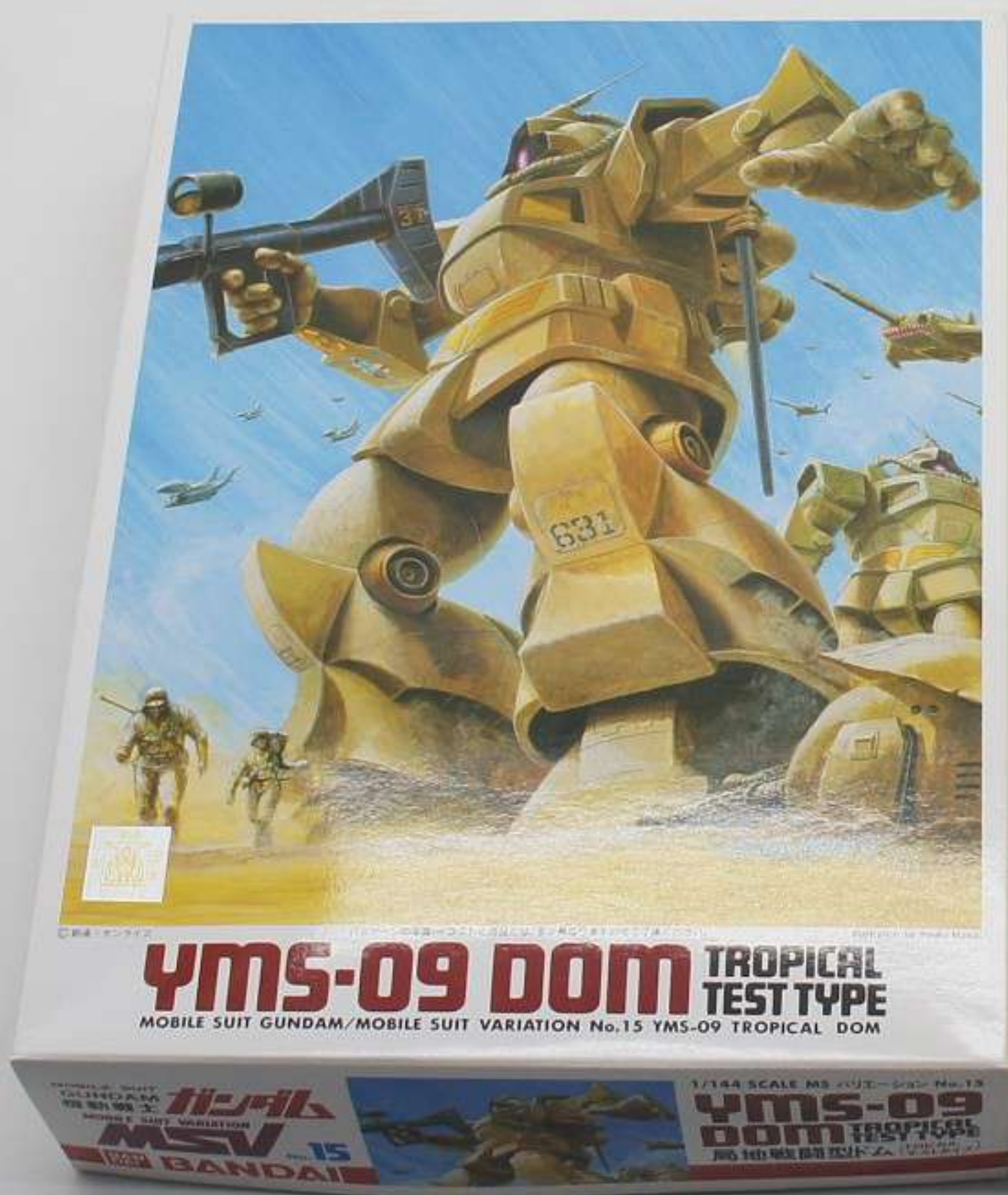


Mobile Suit Variations Model Series

1/144 Dom Tropical Test Type



<https://gunplastory.com/>



塗装 & マーキング

●○数字はデカールの番号です。



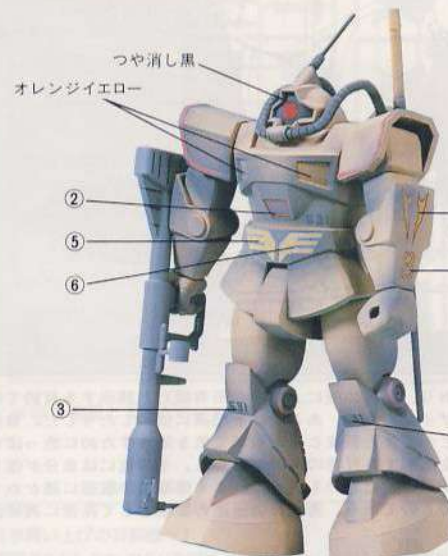
■基本色は、サンディブラウンにつや消し剤を混ぜたものです。全体を塗装して、デカールを貼ってからフィールドグレイにつや消し剤を混ぜたものをうすめ液でうすめ、汚し塗装をしたものです。



■汚し塗装はドライブラシ塗装で仕上げるとういでしょう。

〈ドライブラシ塗装〉

古くなった筆の先を少し切り、汚す色をつけて、紙や布に筆先が乾くまでこすりつけ、その後たたくようにして塗装する方法



つや消し黒
オレンジイエロー



ランドセル:ニュートラルグレイ

ブラウン

ロケットバズーカ:
ニュートラルグレイ

バーニア:
黒鉄色
内部:赤

黒鉄色
内部:赤

※肩と足の部分にある赤のラインは、市販のミクロンテープ(1mm巾)を使用しました。

※デカールが完全に乾いた後、もう一度水でぬらした布でかるくデカールの部分をふいてください。余分なりがとれてデカールがはがれません。

デカールの貼り方

- ①デカールを貼るところの、ほこりや汚れ、油気を、ぬらした布で良くふきとってください。
- ②貼りたいデカールをハサミで切りとり、ぬるま湯に5秒程つけてください。

- ③マークを台紙からずらしながら貼ってください。(ピンセットを利用するとよいでしょう。)
- ④やわらかく、水気をよく吸う布でマークをそっと押え水分をとります。
- ⑤貼ったあとは乾くまでさわらないようにしてください。

1995. 8/T.T.TA再

Scanned by Dalong.net

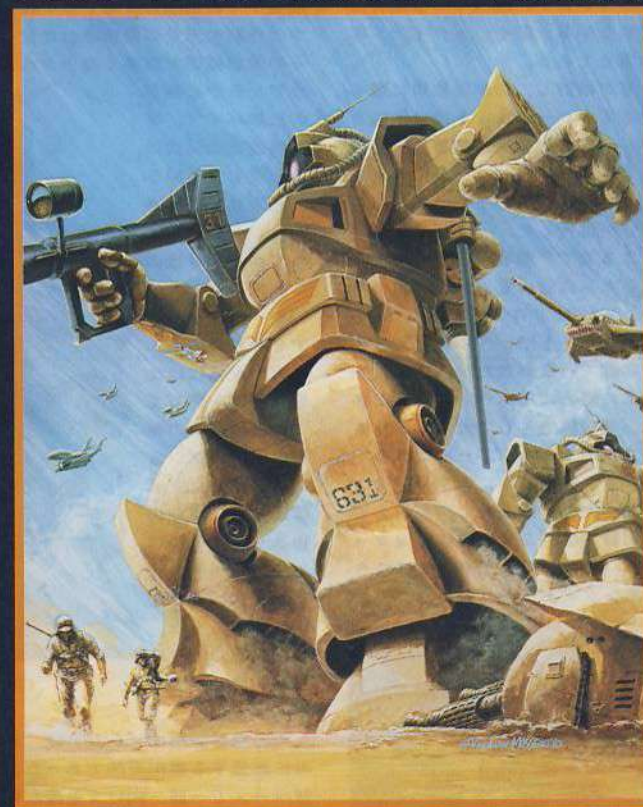
MOBILE SUIT VARIATION

YMS-09 DOM

TROPICAL TEST TYPE

機動戦士 **ガンダム**

YMS-09 局地戦闘型ドム/解説書



1/144SCALE モビルスーツバリエーション No.15

BANDAI

© 創通・サンライズ

YMS-09 DOM TROPICAL TEST TYPE

モビルスーツバリエーション
YMS-09トロピカルテストタイプ ドム

MOBILE SUIT VARIATION

YMS-09 ドム系列の解説

モビルスーツによって連邦に対し優位に立ったジオン公国ではあったが、成功作MS-06に過大な多用途性を見出そうとしたため、地上戦において設計を新たに作るモビルスーツの必要性は足早にやってきた。

かねてよりMS-06に高性能を追求するためMS-07が誕生するまでになっていたが、陸上での移動力に難点が集中し、飛行可能なMS-07や、ドダイYS等の対策が成された事は有名である。

ここにおいてジオン軍が検討したのが陸戦用に最も要求された機動性を満たすホバージェット推進機能を持つモビルスーツであった。白兵戦用に軽量高機動のRX-78を参考にザクを改良したのがYMS-08Aであったが、すでに却下となり欠番となっていたため、YMS-09の名称で試作が進行した。

開発は全て新設計による物で、開発から6ヵ月以上を数えてロールアウトした。武装は重火器の使用が可能となり、専用兵器として360ミリロケット砲と、MS-07C-5にも装備されたヒートサーベルが与えられている。試作はジオン本国で行なわれたが、実際に完成した1号機、2号機は、直ちに地球へ降ろされて各種テストに使用された。最新鋭機として大きく期待された同機のテストには宣伝用フィルムのために数多くの將軍達が召喚されている。実用試験には1号機にフレデリック＝クランベリー大佐が搭乗して花を添えている。確認されている記録では1・2号機共に部隊マーク風に描かれているのは、式典に際してザビ家の命令によって施されたマーキングであったと言われている。

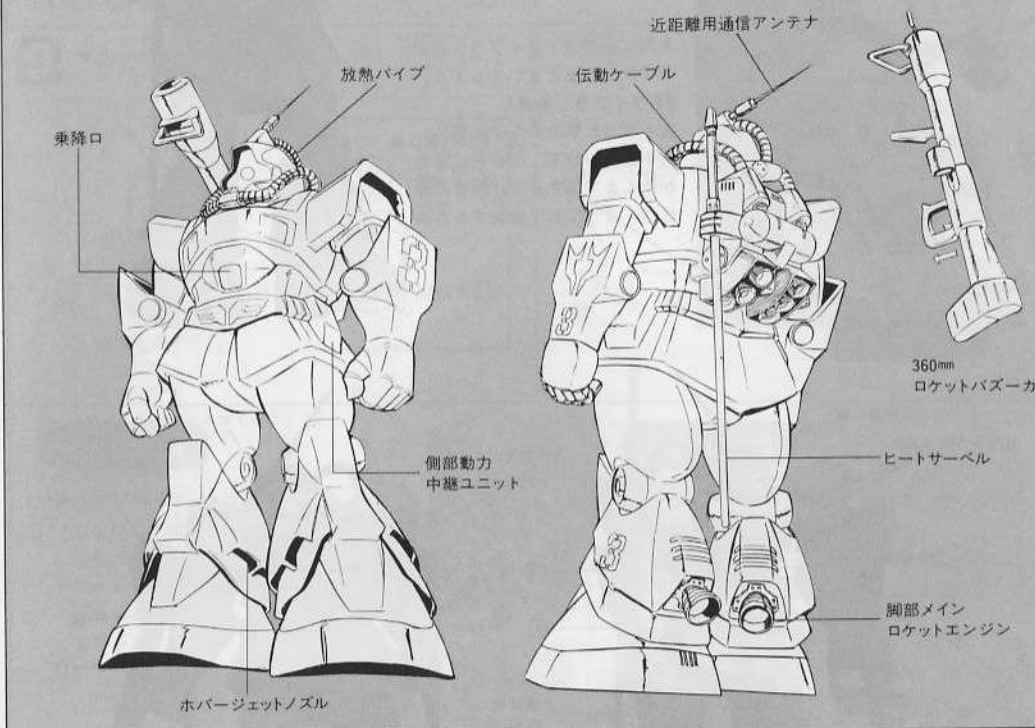
試作機1号・2号機は、キャルフォルニアベース送りとなっていたが、2号機は一月を置いて熱帯戦用MS-09の研究母体として若干の改修を受けた。これがトロピカル・テストタイプである。アフリカ戦線のMS-09ドムの活躍は実に目覚ましい物であったが、高温下での戦闘にメカトラブルが発生し、モビルスーツの性能が充分に発揮されなかったため、現地部隊からの改善要求が数多く提出された。特に近距離用の通信アンテナと頭部の放熱パイプ、背部推進機の形式は差し戻してYMS-09方式が採用された。この期間はわずか一月後のことであった。

キャルフォルニアを通じてのドムの実戦配備には比較的時間を要していたため、この熱帯戦用のオプションを装備したドムは正式承認以前の物としてキャルフォルニアベースが工作を代行しただけの物であった。戦後の紹介でYMS-09Dとされる事が多い。

この熱帯戦用オプションは、若干の改造で在来のドムに装備する事が可能であったため、キャルフォルニアベースで一部へ向けて生産が行なわれている。但し実際に使用した例は10機程度であったとも言われ、戦闘中のYMS-09Dとして誤認されるのはそれらの改修タイプである。

オプションを装備した例としては、MS-06Dでも活躍した「カラカル」小隊のロイ＝グリーンウッド少佐の乗機「サンダーキャット」が有名である。

YMS-09 トロピカルテストタイプ・ドム



パーソナルマークは、その名のとおり、個人の機に、自分の所有機だと誇示する目的で描き入れたもので、それは自分でデザインしたり、あるいは専門家に依頼したりした。自分のイニシャル、あるいは恋人の名とか、また殺伐とした戦場で気を紛らすために色っぽい女性をデザインしたものとか、敵を威嚇する目的のものがあつた。その他には自分が信じる守護神とか家紋をカラフルにデザインしたものもあつた。よく爆撃機の腹部に描かれているのを見かけるが、あれと同様のものである。勇猛な戦士達の象徴として非常に興味深いものだ。



YMS-09
トロピカルテストタイプ ドム



YMS-09プロトタイプドム

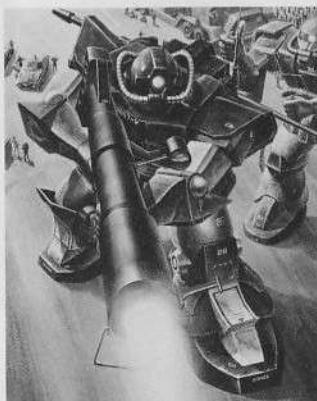


MS-09 量産型ドム



MS-09 量産型ドム

YMS-09 1号機
プロトタイプ・ドム



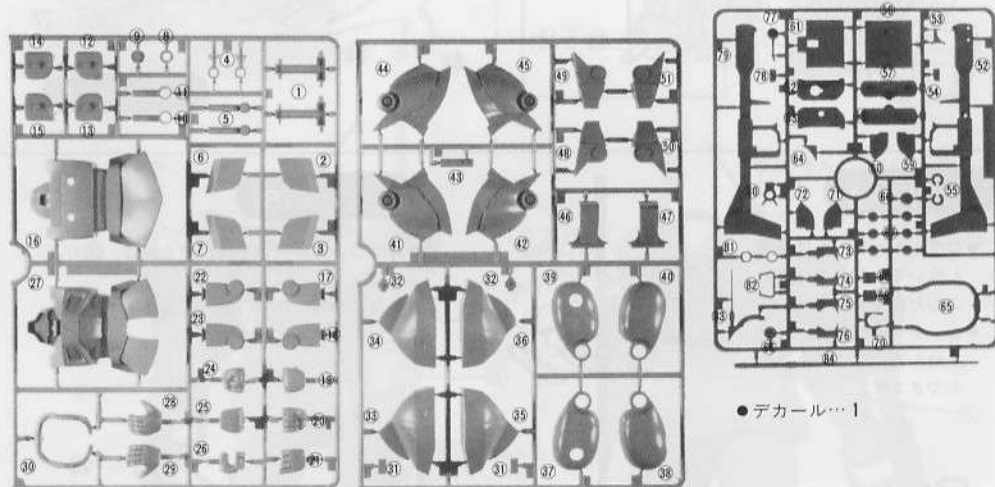
注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

このキットには、接着剤は入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

《部品図》【使用材質】＜成形品＞（スチロール樹脂：PS）



※30は使用しません。

●デカール…1

《お買い上げのお客様へ》

部品をこわしたり、なくした時は「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、部品代（1個40円×個数）＋郵送料（120円）です。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に120円を超える時は不足分を請求、120円以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

For Japanese use only.

部品注文カード

83.10/01334-600

機動戦士ガンダム MSV
1/144 局地戦闘機ドム

必要な部品の記号・番号・数量を書く

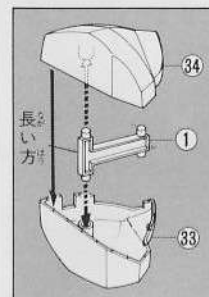
●注文された理由（○で囲む）（こわした・なくした）

日中ご連絡可能な電話番号（ ）

図の中の実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---→)は接着しないところです。

1

- 先に足首と、ももを組み立てます。
- 足首と、ももをはさんで(42)を(41)に接着します。

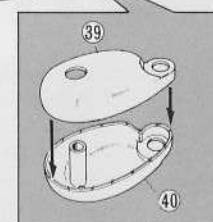


各部品にも番号はいつていますから番号をみて部品をたしかめてください。

足首

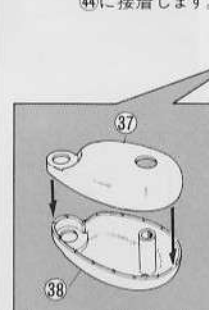
もも

右足



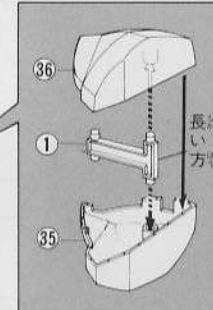
2

- 先に足首と、ももを組み立てます。
- 足首とももをはさんで(45)を(44)に接着します。



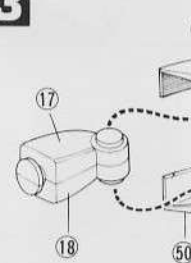
もも

左足



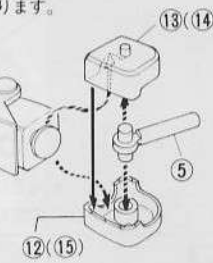
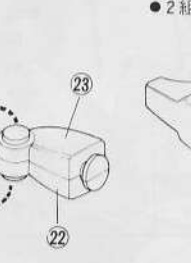
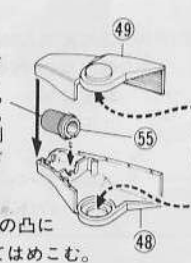
3

- 2組作ります。



★こちら側をはめこむ。

※ミズを50の凸に合わせてはめこむ。

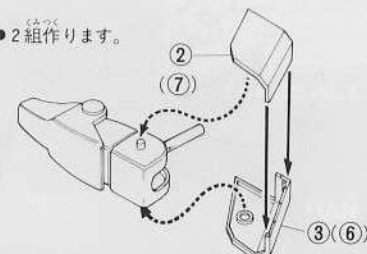


4

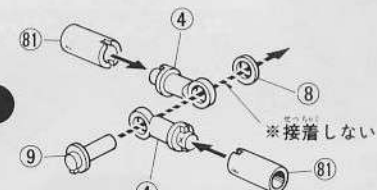
- ※④の向きに注意して組んでください。

※⑧はしっかり接着してください。

- 2組作ります。



肩部品



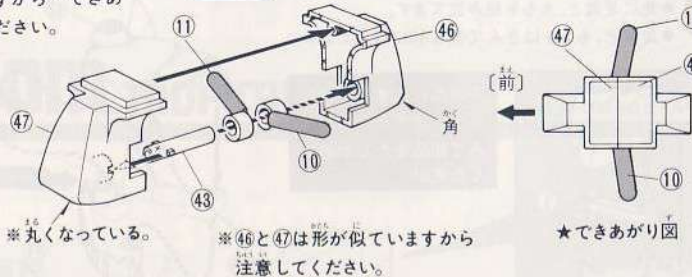
※接着しない

5

※⑩と⑪は形が似ていますから“できあがり図”をよくみてください。



※切りとったところをきれいにしてください。



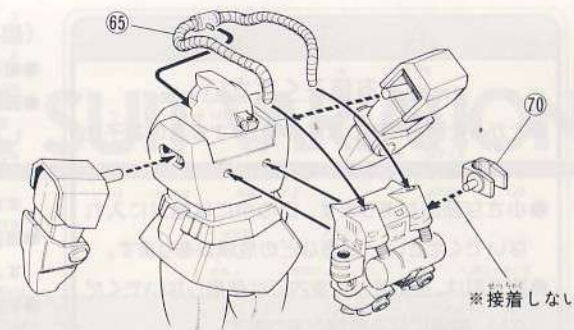
Scanned by Dalong.net

8

※腕と⑦⑧は接着しないでください。

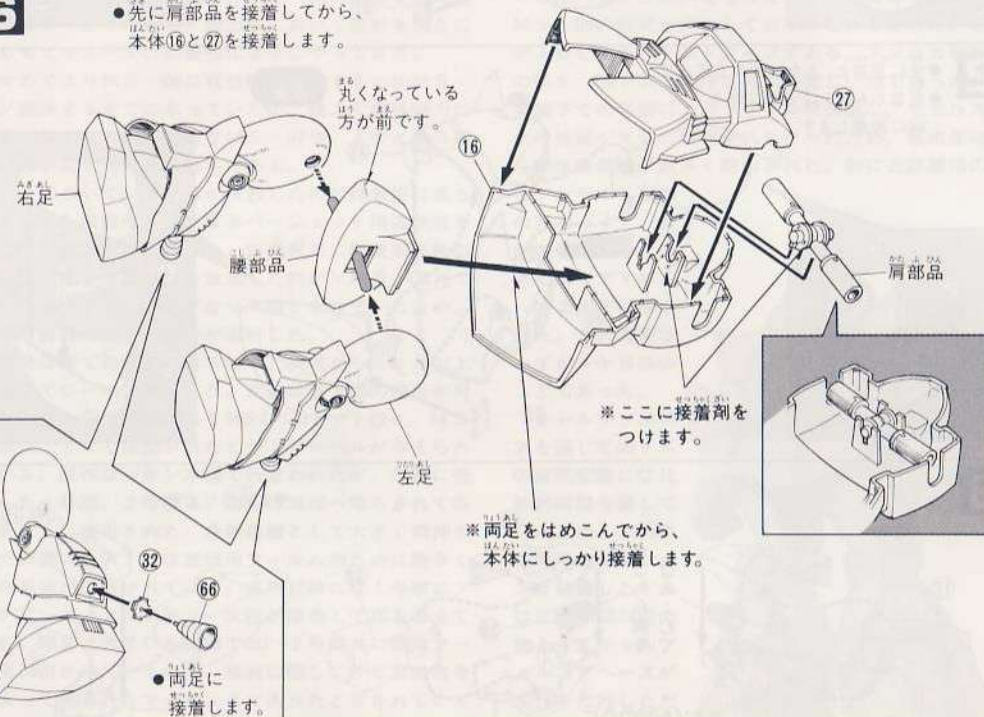
カメラアイ(デカール⑦)

※カメラアイは、デカールをはるか、又は塗装をしてください。



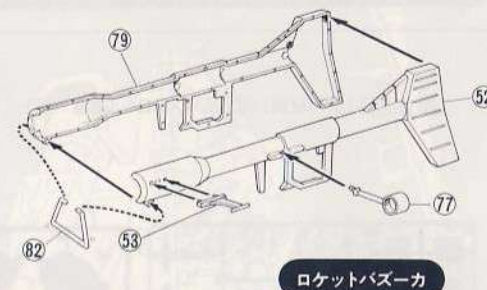
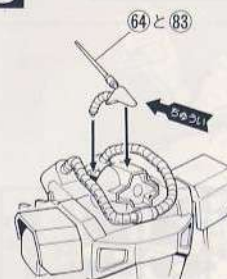
6

●先に肩部品を接着してから、本体⑩⑪を接着します。



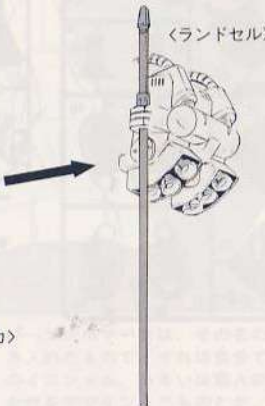
9

●図のように接着します。



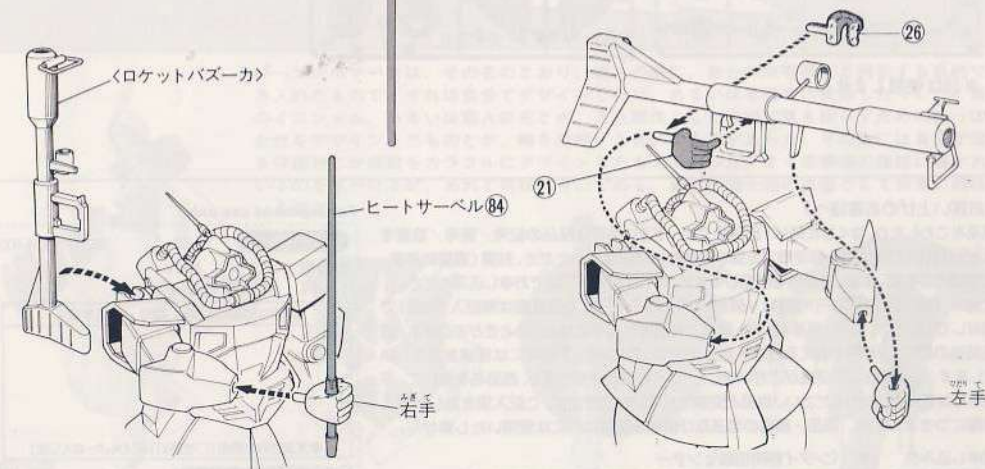
かざり方(A)

- ロケットバズーカは接着しないで、図の所にはめこむだけです。
- ヒートサーベルは、ランドセル左におさめることもできます。



かざり方(B)

- ロケットバズーカを持たせる時は、図のようにします。
- 手は、ひらいた手(28、29)もありますから自由にとりかえてください。



7

●この部品は2組作ります。

＜バーニア＞

